

ジュニア賞

会話シミュレーションゲーム

山口 快維 (高校2年生:東京都)

グローバル化が進展する現代社会では、さまざまなバックグラウンドを持つ人々と接する機会が増えています。しかし、その一方で、日本人の異文化に対する無知が指摘されています。そこで、会話シミュレーションで異文化を学べるゲームがあったらどうでしょう。

近年注目されている Chat GPT-4 のような AI システムを使って、異文化の人たちと会話できるリアルなシミュレーションができます。ゲームは、まずプレイヤーが自分のキャラクターを作り、性別や外見、バックグラウンドストーリーを選択することから始まります。その後、プレイヤーは世界のさまざまな場所を探索する旅に出かけ、ユニークなニーズや課題を持つ多様なキャラクター (NPC) と交流することになります。ゲームを進めていくと、さまざまな障害や困難に遭遇し、共感や思いやりを反映した判断が求められるようになります。例えば、個人的な問題に悩んでいて、誰かに話を聞いてもらったり、サポートしてもらったりする必要があるキャラクターが登場するかもしれません。プレイヤーは、積極的に話を聞いたり、質問したり、励ましたりすることで、そのキャラクターとのつながりを深めていくことができます。そして関係を深めることによって、異文化の価値観や常識を理解していくことができます。

プレイヤーがゲームを進めると、キャラクターは経験値を得てレベルアップし、より複雑なシナリオに対応するための新しい能力やリソースが解放されます。その過程で、現実の状況下で共感と思いやりを実践するためのヒントやガイダンスが提供されます。

このゲームの最終的な目標は、プレイヤーが共感と思いやりの能力を高め、複雑な社会状況を理解しながら切り抜ける能力を身につけることです。